

ジーコム独自調査レポート NO.154

# 2022年の暮らし 向きと景気予想

福岡県居住者の「暮らし向き」に関する調査

2022年1月

Research & Consulting  
**G:COM**

株式会社ジーコム

# 調査概要

## 1. 調査方法

当社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

## 2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

## 3. 調査時期

2021年12月17日（金）～12月24日（金）

## 4. 調査規模

400サンプル

### 【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	148	37.0
女性	252	63.0
全体	400	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20・30代	100	25.0
40代	100	25.0
50代	100	25.0
60代以上	100	25.0
全体	400	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	227	56.8
福岡市以外都市圏	85	21.3
その他福岡県	88	22.0
全体	400	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	114	28.5
公務員	13	3.3
団体職員・病院勤務	17	4.3
経営者・会社役員	7	1.8
派遣社員・契約社員	22	5.5
商工自営	16	4.0
農林漁業	-	-
自由業	8	2.0
学生	2	0.5
パート・アルバイト	65	16.3
専業主婦(主夫)	92	23.0
無職	42	10.5
その他	2	0.5
全体	400	100.0

■ライフステージ	件数	構成比(%)
未婚	96	24.0
既婚・子どもなし	47	11.8
既婚・子どもが小学生以下	94	23.5
既婚・末子が中学生以上で扶養	49	12.3
既婚・子育て終了	114	28.5
全体	400	100.0

■世帯年収	件数	構成比(%)
200万円未満	24	6.0
200～300万円未満	40	10.1
300～400万円未満	53	13.3
400～500万円未満	35	8.8
500～600万円未満	30	7.5
600～700万円未満	40	10.1
700～800万円未満	30	7.5
800～900万円未満	22	5.5
900～1000万円未満	18	4.5
1000～1500万円未満	25	6.3
1500万円以上	5	1.3
わからない	76	19.1
全体	398	100.0

\* 学生除く

### 【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

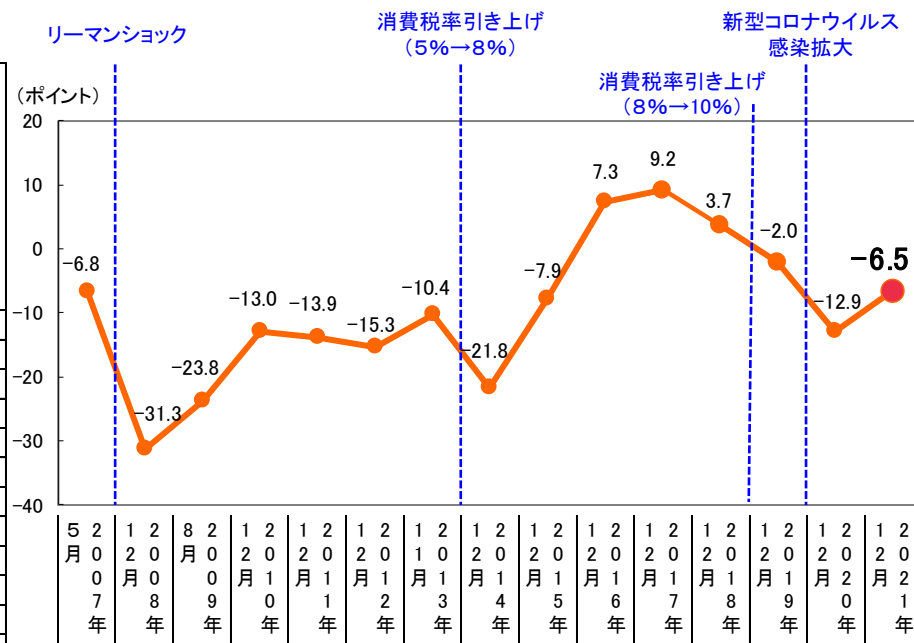
# 1. 暮らし向きの変化

- 1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかというと良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかというと悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は-6.5ポイント。依然マイナスだが、コロナの影響を大きく受けた昨年からは回復した。
- 年代別では、20・30代はプラスだが、40代以上はマイナス10ポイント以下と大きな差がある。
- 世帯年収別では、500万円未満層はマイナス10ポイント以下であり、昨年から変わらずマイナスの幅が大きい。

◆ 1年前と比べた暮らし向きの変化【単一回答】

	調査数	【%】					【%】		【ポイント】	
		良くなった	どちらかという と良くなった	どちらかとい えない	悪くなった	どちらかとい うと悪くなった	肯定層	否定層	暮らし向き 判断指数	暮らし向き 判断指数
全体	400	3.0	10.5	66.5	15.0	5.0	13.5	20.0	-6.5	-12.9
性別										
男性	148	2.7	8.1	70.9	12.8	5.4	10.8	18.2	-7.4	-15.9
女性	252	3.2	11.9	63.9	16.3	4.8	15.1	21.0	-6.0	-10.7
年代別										
20・30代	100	7.0	16.0	60.0	11.0	6.0	23.0	17.0	6.0	-0.7
40代	100	2.0	5.0	75.0	15.0	3.0	7.0	18.0	-11.0	-15.0
50代	100	3.0	14.0	56.0	20.0	7.0	17.0	27.0	-10.0	-24.0
60代以上	100	-	7.0	75.0	14.0	4.0	7.0	18.0	-11.0	-16.0
世帯年収別										
300万円未満	64	-	7.8	65.6	18.8	7.8	7.8	26.6	-18.8	-26.8
300～500万円未満	88	2.3	11.4	60.2	18.2	8.0	13.6	26.1	-12.5	-14.4
500～700万円未満	70	5.7	15.7	62.9	15.7	-	21.4	15.7	5.7	-4.7
700～900万円未満	52	3.8	7.7	75.0	11.5	1.9	11.5	13.5	-1.9	-3.2
900万円以上	48	6.3	14.6	68.8	8.3	2.1	20.8	10.4	10.4	-8.7

◆ 暮らし向き判断指数の推移



\* 肯定層 = 「良くなった」+「どちらかというと良くなった」  
 否定層 = 「悪くなった」+「どちらかというと悪くなった」  
 暮らし向き判断指数 = 肯定層 - 否定層

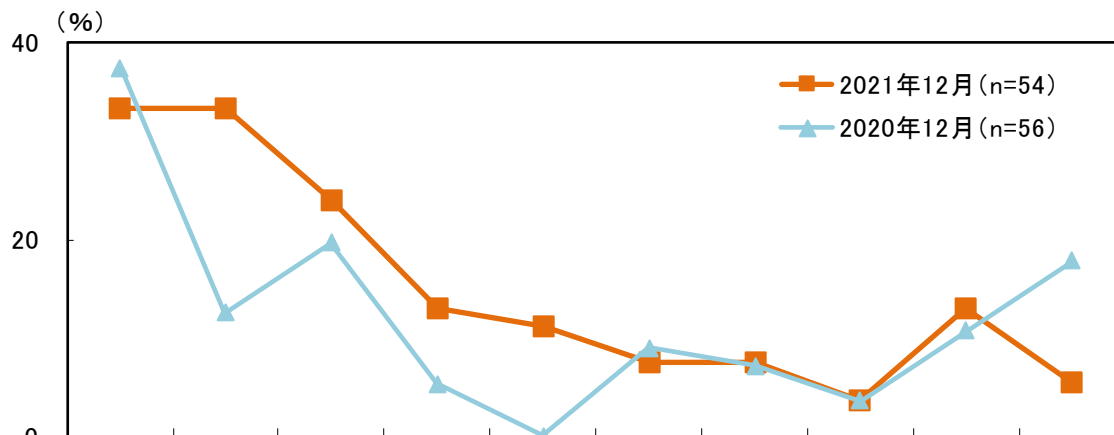
## 2. 暮らし向きが良くなった理由

\* 暮らし向き肯定層限定

- 「コロナの影響による出費減」が大きく増加して「世帯主の収入増」と同率 1 位に。3 位の「節約」も微増しており、出費減が暮らし向き改善の大きな理由となった。

\* サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆ 暮らし向きが良くなった理由【複数回答】



調査数	世帯主の収入が増えた	コロナの影響で外食やレジャーの出費が減った	節約して支出を減らした	共働きするようになった	住宅などのローンの支払いが終わった	同居家族の人数が減った	同居している子どもが社会人になった	世帯主が副業を始めた	その他	特にない・わからない	
2021年12月	54	33.3	↑ 33.3	24.1	13.0	11.1	7.4	7.4	3.7	13.0	5.6
2020年12月	56	37.5	12.5	19.6	5.4	-	8.9	7.1	3.6	10.7	17.9

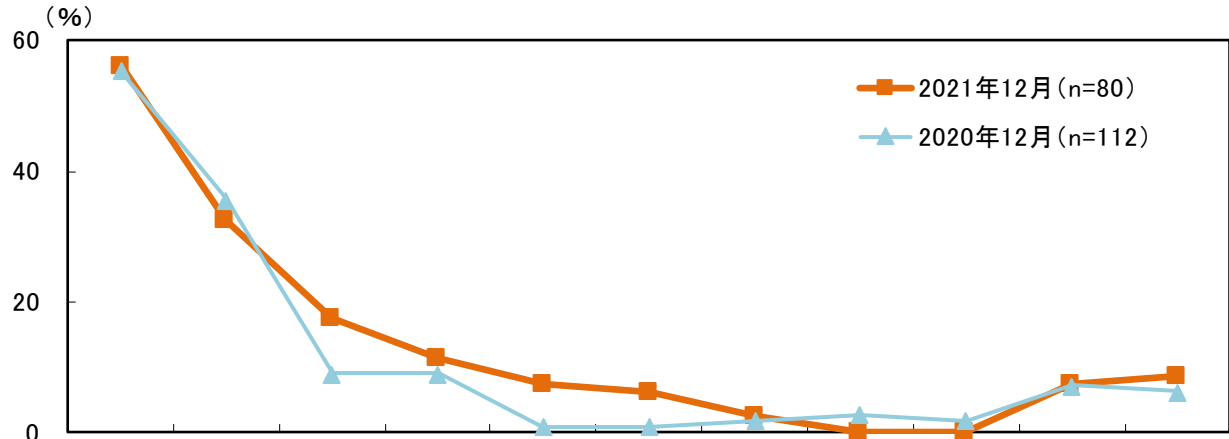
### 3. 暮らし向きが悪くなった理由

\* 暮らし向き否定層限定

- 「世帯主の収入減」「コロナの影響による出費増」が暮らし向き悪化の2大要因である。
- 昨年から「教育費が増えた」の割合が増加し、第3位に。

\* サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆ 暮らし向きが悪くなった理由【複数回答】

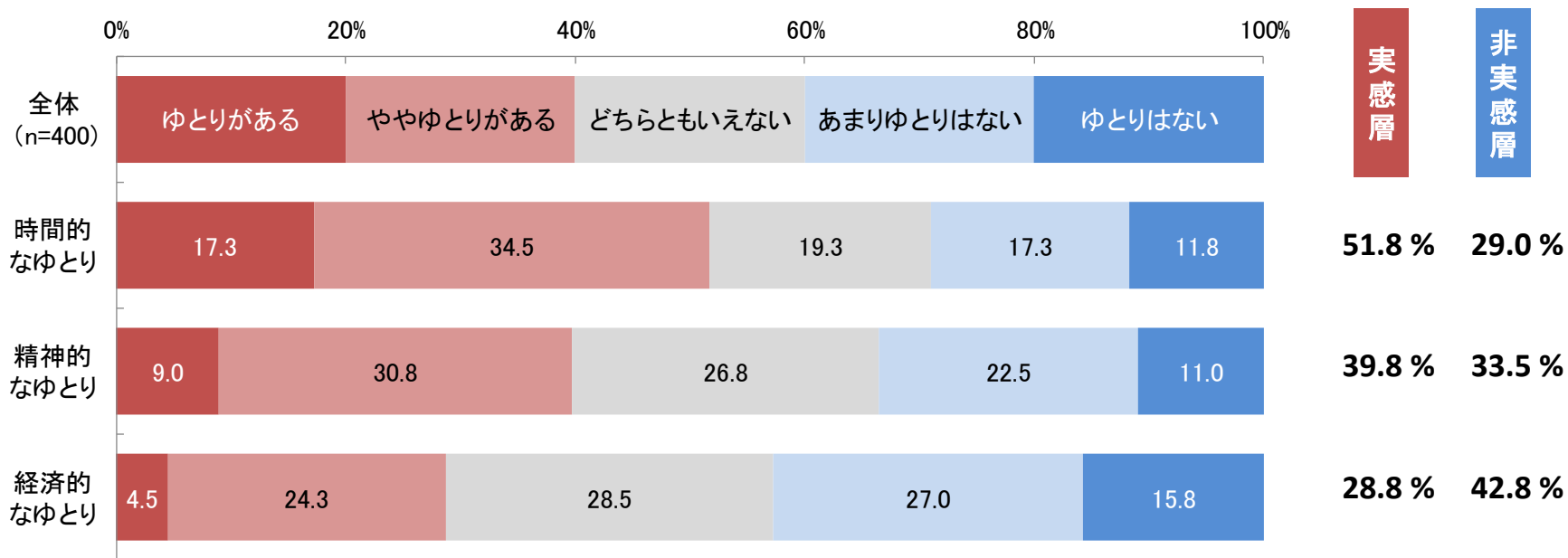


調査数	世帯主の収入が減った	新型コロナウイルスの影響で出費が増えた	教育費が増えた	家族の病気治療や介護が必要になったため	共働きをやめた	仕送りが必要になった	別居している家族への支払いが始まった	世帯主が副業をやめた	同居家族の人数が増えた	その他	特にない・わからない	
2021年12月	80	56.3	32.5	17.5	11.3	7.5	6.3	2.5	-	-	7.5	8.8
2020年12月	112	55.4	35.7	8.9	8.9	0.9	0.9	1.8	2.7	1.8	7.1	6.3

## 4. 生活ゆとり度

- それぞれの生活ゆとり度を聞いたところ、実感層の割合は「時間的なゆとり」が過半数で最も高く、次いで「精神的なゆとり」が4割、「経済的なゆとり」が3割であった。

◆生活ゆとり度【単一回答】



\* 実感層 = 「ゆとりがある」 + 「ややゆとりがある」  
非実感層 = 「ゆとりはない」 + 「あまりゆとりはない」

- 年代別では、60代以上は他の年代に比べて各実感層の割合が高い。
- 世帯年収別では、他の層に比べて900万円以上層は「精神的なゆとり」「経済的なゆとり」の実感層の割合が高く、また、300万円未満層は「経済的なゆとり」の非実感層の割合が高い。
- 暮らし向き別では、肯定層は各項目の実感層の割合が、否定層は各項目の非実感層の割合が高い。

◆生活ゆとり度【単一回答】

【%】

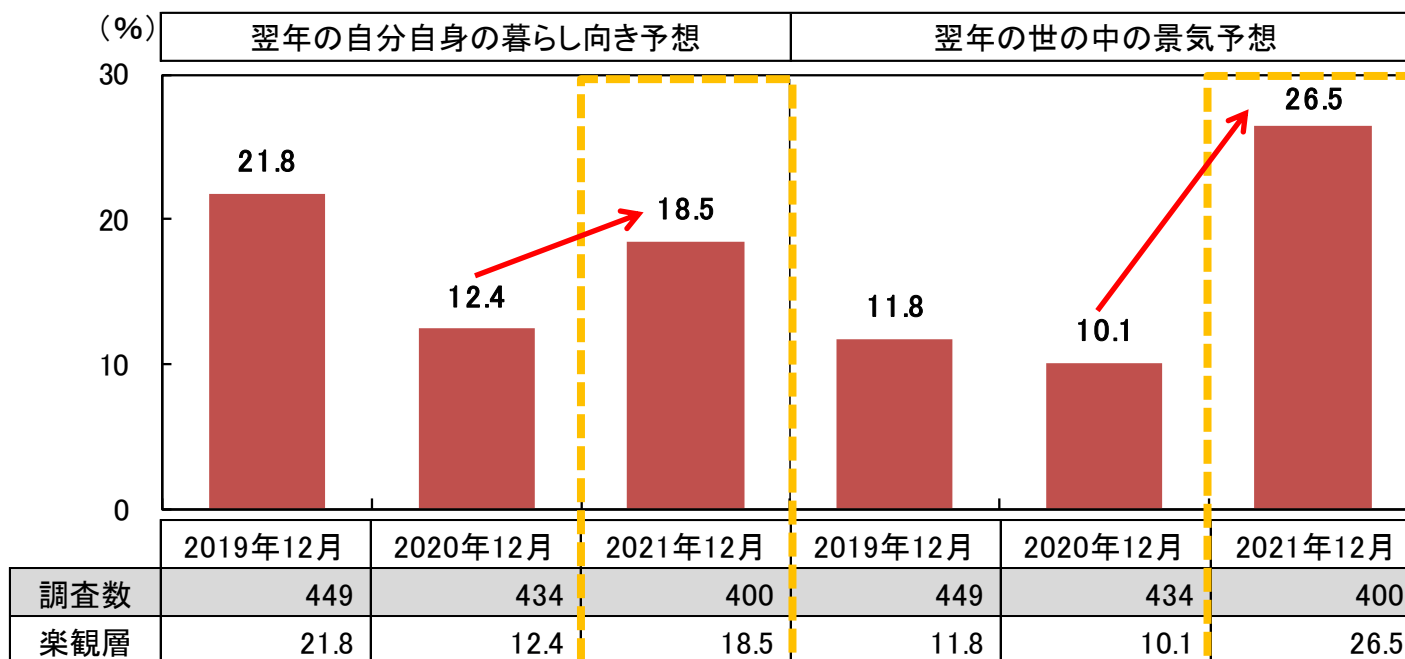
		調査数	時間的なゆとり		精神的なゆとり		経済的なゆとり	
			実感層	非実感層	実感層	非実感層	実感層	非実感層
全体		400	51.8	29.0	39.8	33.5	28.8	42.8
性別	男性	148	49.3	27.0	35.1	36.5	24.3	44.6
	女性	252	53.2	30.2	42.5	31.7	31.3	41.7
年代別	20・30代	100	47.0	38.0	43.0	33.0	27.0	45.0
	40代	100	40.0	34.0	27.0	43.0	24.0	43.0
	50代	100	55.0	28.0	34.0	36.0	27.0	48.0
	60代以上	100	65.0	16.0	55.0	22.0	37.0	35.0
世帯年収別	300万円未満	64	57.8	25.0	32.8	35.9	10.9	67.2
	300～500万円未満	88	52.3	35.2	36.4	39.8	22.7	47.7
	500～700万円未満	70	51.4	25.7	42.9	34.3	34.3	37.1
	700～900万円未満	52	50.0	30.8	38.5	34.6	36.5	30.8
	900万円以上	48	52.1	25.0	58.3	22.9	58.3	16.7
暮らし向き別	肯定層	54	59.3	22.2	64.8	13.0	64.8	13.0
	否定層	80	46.3	42.5	20.0	56.3	7.5	81.3

\*実感層＝「ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」  
非実感層＝「ゆとりはない」＋「あまりゆとりはない」

## 5. 翌年の暮らし向きと世の中の景気予想

- 翌年（2022年）の「自分自身の暮らし向き」と「世の中の景気」について、2021年12月の調査時点ではコロナの影響がひと段落したためか、前回からともに楽観層が増加した。とくに「世の中の景気」については、コロナ禍前の2019年調査時よりも楽観層の割合が高い。

◆ 翌年の暮らし向きと世の中の景気予想【単一回答】  
\* 楽観層抜粋



\* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかという良くなる」



●世帯年収別では、300万円未満層はどちらも悲観層の割合が他の層に比べて高い。

◆翌年(2022年)の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】

		調査数	良くなる	どちらかという と	どちらともい えない	悪くなる ど ちらかとい うと	悪くなる	【%】
全体		400	3.0	15.5	60.3	17.0	4.3	
性別	男性	148	2.0	15.5	62.2	16.9	3.4	
	女性	252	3.6	15.5	59.1	17.1	4.8	
年代別	20・30代	100	8.0	15.0	59.0	13.0	5.0	
	40代	100	3.0	14.0	61.0	19.0	3.0	
	50代	100	1.0	18.0	57.0	17.0	7.0	
	60代以上	100	-	15.0	64.0	19.0	2.0	
世帯年収別	300万円未満	64	1.6	10.9	59.4	20.3	7.8	
	300～500万円未満	88	4.5	15.9	60.2	12.5	6.8	
	500～700万円未満	70	2.9	20.0	58.6	18.6	-	
	700～900万円未満	52	3.8	25.0	50.0	15.4	5.8	
	900万円以上	48	4.2	14.6	66.7	14.6	-	
								【%】
								楽観層
								悲観層
								21.3
								18.5
								20.3
								19.0
								23.0
								17.0
								22.0
								19.0
								24.0
								15.0
								21.0
								12.5
								28.1
								20.5
								19.3
								22.9
								18.6
								28.8
								21.2
								18.8
								14.6

◆翌年(2022年)の世の中の景気予想【単一回答】

		調査数	良くなる	どちらかという と	どちらともい えない	悪くなる ど ちらかとい うと	悪くなる	【%】
全体		400	2.5	24.0	43.3	23.5	6.8	
性別	男性	148	4.1	26.4	39.2	25.0	5.4	
	女性	252	1.6	22.6	45.6	22.6	7.5	
年代別	20・30代	100	3.0	22.0	46.0	20.0	9.0	
	40代	100	1.0	18.0	50.0	26.0	5.0	
	50代	100	3.0	24.0	42.0	22.0	9.0	
	60代以上	100	3.0	32.0	35.0	26.0	4.0	
世帯年収別	300万円未満	64	4.7	25.0	29.7	34.4	6.3	
	300～500万円未満	88	3.4	20.5	51.1	13.6	11.4	
	500～700万円未満	70	1.4	30.0	37.1	25.7	5.7	
	700～900万円未満	52	-	30.8	40.4	25.0	3.8	
	900万円以上	48	6.3	25.0	45.8	18.8	4.2	
								【%】
								楽観層
								悲観層
								30.3
								26.5
								30.4
								30.4
								24.2
								30.2
								25.0
								29.0
								19.0
								31.0
								27.0
								31.0
								35.0
								30.0
								29.7
								40.6
								23.9
								25.0
								31.4
								31.4
								30.8
								28.8
								31.3
								22.9

\* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかというと良くなる」  
悲観層＝「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

## マーケティングリサーチからコンサルティングまで 福岡・九州の生活者マーケティングは、株式会社ジーコム

1986年の創業以来、30年以上福岡・九州で  
「マーケティング・リサーチ」と「ビジネスコンサルティング」の専門会社として、  
顧客視点に基づく科学的なアプローチによつて的確な課題解決策を導き出し、  
マーケティングサポートを行っています。

### 発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221 FAX 092-761-0228

<https://www.gcom-net.co.jp/>

[inq@gcom-net.co.jp](mailto:inq@gcom-net.co.jp)